

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
 担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道356号 篠原拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県佐原市篠原 至：千葉県佐原市佐原イ	延長	1.9 km		

事業概要
 一般国道356号は、銚子市を起点とし、佐原市を経て我孫子市に至る延長約110kmの主要な幹線道路であり、利根川沿いに県北部の東西を結ぶ重要な路線である。
 篠原拡幅は、4車線化が完了している佐原市佐原イから、東関東自動車道水戸線佐原ICへのアクセス道路である県道香取津宮線までの間1.9kmについて、4車線拡幅整備を図るものである。

事業の目的、必要性
 佐原市の中心部であるための多大な交通量、及び4車線から2車線への車線数の減少により生じている慢性的な交通渋滞の解消を図る。
 なお、当該地域において、スーパー堤防が計画されており、平成17年度の堤防事業の盛土工着手に合わせ、道路事業を平成16年度に着手し、用地を確保する必要がある。

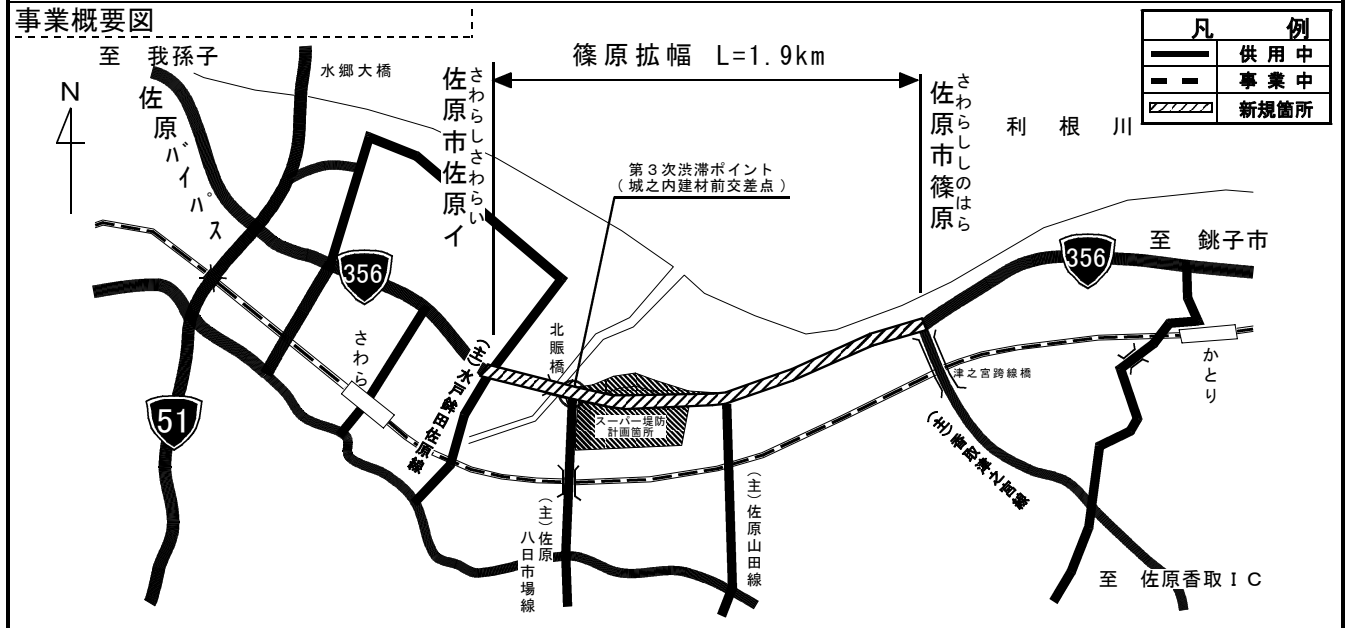
全体事業費	30億円		計画交通量	35,900台/日	
費用対効果分析結果	B/C	3.3	総費用	25億円	
			事業費	24億円	
			維持管理費	1億円	
			総便益	84億円	
			走行時間短縮便益	87億円	
			走行費用減少便益	-4億円	
			交通事故減少便益	0億円	
			基準年	平成15年	

事業の効果等

- 円滑なモビリティの確保（現道の旅行速度の改善が期待される：16.5km/h⇒38km/h）
- 都市の再生（都市再生プロジェクトである利根川下流高規格堤防整備事業を支援する）
- 個性ある地域の形成（地域連携プロジェクトである佐原市広域交流拠点整備事業を支援する）
- 安全な生活環境の確保（歩道が無い区間に歩道が設置される）

他20項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見
 国道356号は、成田空港や内陸工業団地を生かしたまちづくりの支援と地域活性化を図るため、必要不可欠であると期待されており、佐原市をはじめとする関係5市5町1村の首長、県議会議員で構成される国道356号整備促進期成同盟より早期整備の要望（平成15年11月20日）を受けている。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。